



# 食の安全と都市型農業を考える学習会



身近なところで作られる農産物は、生産者の顔が見え、食の安全安心につながっています。そのためにも、大和市で農業が継続できる環境をつくっていくことが大切です。

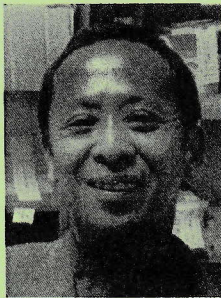
このたび、食と農の専門家の大江正章氏を迎え、昨今の食料事情と都市型農業の課題について、一緒に考えます。ぜひ、ご参加ください。

(2回連続講座です。⇒2回目(ミニフォーラム)は11月を予定しています。)

## ◆講師プロフィール

大江正章 (おおえ ただあき) コモンズ代表、ジャーナリスト、アジア太平洋資料センター共同代表、全国有機農業推進協議会理事。早稲田大学政治経済学部卒業後、学陽書房入社。1996年、環境・アジア・農・食・自治などをテーマに暮らしを見直し、わかりやすいメッセージと新たな価値観を伝えることをモットーとした出版社、コモンズ創設し主著多数。

2009年に梓会出版文化賞特別賞受賞。また、地域づくりや農業の現状、農に親しむ市民、新しい公共のあり方などについて、取材・考察・執筆している。『地域に希望あり——まち・人・仕事を創る』(岩波新書、2015年 農業ジャーナリスト賞受賞 2016年)



開催日時：  
10月6日(木)  
10:00~12:00

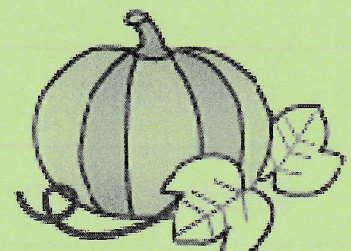
会場：渋谷学習センター  
(IKOZA) 310号室

講師：  
大江正章氏  
有限会社コモンズ代表

主催：  
神奈川ネットワーク運動  
大和市民会議(環境政策チーム)

参加費：100円

申込先：  
参加申込みは下記の用紙に記入の上、FAXで送るか、問合せ先にTELでお申込みください。



10月 6日(木) 「食の安全と地場農業について学ぶ・考える学習会」参加申込書  
申込先 FAX: 046-259-6583 問合せ TEL: 090-2677-5763 (高橋)

お名前	連絡先(TEL)	FAXやメールアドレスなど



## 地域農産物直売所マップ作成にご協力をお願いします！

私たちは、食の安全と農業を取りまく課題の中で「地産地消・都市農業・TPP」に着目しています。身近な地域で作られた農産物は新鮮で、直接見て・聞いて・話して生産状況が確かめられることにより安心感や愛着感を得ることができます。この「顔が見え、話ができる」関係性は、食の安全や地場農業の活性化へもつながります。

今回、大和市に点在する直売所をより多くの地域消費者に知っていただき、利用へつながっていただけるよう、市内にある直売所マップを作成することになりました。つきましては、皆さまのご協力を頂き、情報を集めたいと思いますので、調査票記入のご協力をよろしくお願いいたします。

作成した直売所マップは11月に公表しますので、10月末までに、関係者または、大和市民会議事務所まで FAX (046・259・6583) をお願いいたします。

神奈川ネットワーク運動 大和市民会議 環境政策チーム



## 地場野菜直売所 調査票

調査日と報告者	2016年 月 日( ) お名前 _____
直売所の名称	
エリア	北部                      中部                      南部
住所(大まかで良い)	大和市
販売日	毎日 毎週(月・火・水・木・金・土・日)曜日
	その他( )
販売時間	:                      ~                      :
問合せ先(あれば)	
販売形態	無人・有人・その他( )
取扱品目	野菜・果物・花・その他( )
特色など(減農薬野菜など こだわっていること等) (写真を貼っても可)	